

平成27年度 第4回新宿区産業振興会議 議事要旨

- 【日時】 平成27年11月11日(水) 午後6時～8時
【場所】 BIZ新宿(区立産業会館) 多目的ホール
【出席者】 委員:植田、河藤、川名、松尾、前田、志村、加藤、富田、太田、遠藤、友成各委員
事務局:太田産業振興課長、黒澤産業振興係長、久野主任主事、後藤産業創造プランナー
【欠席者】 酒井、益田委員
【傍聴者】 1名
【配布資料】 省略

【内容】

1 開会

2 議 事

○産業実態調査と産業振興プランについて

資料2、資料3、資料4、資料5および参考資料に基づき、産業実態調査と産業振興プランについて事務局より説明した。

3 主な発言内容

○調査対象

- ・核になっている産業や新宿区の特色を表している企業など、特徴ある企業だけを抽出していった方がいいのではないか。
- ・新宿らしい特徴を活かして、ピンポイントで頑張っている企業をもっと把握したほうが良いと思うが、そのような企業を抽出し、対象を絞った調査は今回の調査とは別にやらなくてはいけないものだと思う。
- ・新宿に関係の深い、新宿らしい産業に特化して行うという方法もあるが、新宿にあまり関係がないと思われているところに、実は新宿に関係のある企業が入り込んでいる可能性がある。例えば製造業で新宿と関係なく、ものづくりをしているような企業でも、実は新宿の特徴をうまく活用しているところが出てくると思うので、この業種は切ったほうが良いとか、この業種だけ特化してというのは、ちょっと難しいのではないか。調査対象を絞ることで、見落としてしまう企業が出てくるのは避けたい。

○調査目的

- ・何の目的で調査をするか、目的をはっきりしたほうが良い。調査結果をどのように利用するのか、目的を絞ってから実施内容を決めないと難しいと思う。雑駁なものだとわからないし、価値ある調査にしなければいけない。
- ・この調査の結果は産業振興プランの作成のために使っていくということになるが、これまで議論してきた新宿の特色を活かした地域の企業の活性化が調査の目的になるのではないか。
- ・調査の目的が産業振興プランのためというのは、行政のニーズとしてはよくわかる。ただその考え方は現場とはかけ離れているのではないかと思う。地域の活性化と言われているが、それが何なのか、目的がはっきりしていないのではないか。オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることや新宿の特色を活かすこと、新宿にある素晴らしいものや魅力的なもので盛り上げていきたい、ということであれば、もっとピンポイントの目的になるのではないか。
- ・調査で、企業が自分で気が付いていない魅力を聞き出せれば、魅力を持った企業の連携など、オール新宿で新宿の可能性をまだまだ広げていくことができる。そこを一つの目的にしていくと調査の方向性が見えてくるような気がする。
- ・事業所・企業の現状については、他に実施している調査データで分かることも多いと思う。今回の調査を新しい動きを作り出していくために参加者を募っていただけるような意味を持った調査にしてもいいかもしれない。

○調査票

- ・回答例を含めて十数ページの調査票が多いが、もっと端的に、何を知りたいのか、何をやりたいのか、できるだけシンプルなものが良いと思う。

○調査内容

- ・新宿の特色を各事業所、企業がどのように認識し、どのように活かして今後事業活動していこうとしているのか、その活動を行う際にどのような問題を抱えているのかなどは業種を超えて聞きたい。同じ業種だけの話ではなく、業種を超えた連携、業種を超えた様々な活動がこの新宿に必要で、そのような取り組みを行っている企業が伸びていける場所ではないかと思う。そこから希望や問題意識などを吸い上げていけるような調査になればいい。
- ・調査票の前段階のところで、区の本気度や、今後行っていく予定の産業振興施策を提示して、「回答いただいた内容を有効に活用する。」という文言があるだけでも回答率が上がるのではないかと。
- ・アンケートのようにマクロにデータを取ると、大体想定した通りの漠然とした課題しか出て来ない。行政が本気になって企業が抱えている課題を知ることであるならば、その本気を見せなくてははいけないし、行政が本気で取り組むべき課題を引き出さなくてははいけない。そのような調査にするにはどうしたらいいか考えなくてははいけないと思う。
- ・WEB 調査は回答者となつなができることができ、希望者には産業振興情報や観光情報を配信することができる。情報が欲しい企業は積極的に回答するだろう。区と企業とのつながるきっかけ、積極的な企業を集めるためというのが目的でもいいのではないかと。それはとても新宿らしい調査ではないかと思う。
- ・新しい産業振興プランで実施していくことを3つくらいに絞って調査の際に明記し、企業がそのプランに沿ってできることを回答してもらおう調査でもいいのではないかと。
- ・調査にはマルチなチャンネルを持った方がいいと思う。WEB だけでは回収率が劇的には挙がらない。FAX は回答率が高い。待っていても回答は来ないので、地域で説明会を開くなど、行政側の働きかけも必要ではないかと。
- ・複数の企業で何か新しいことを始める場合の課題を聞いてほしい。資金や人手不足ということではなく、何ができなくて困っているのか、どんな障害があったのかなどを聞いてみてはどうか。
- ・「こういうことを一緒になって考えて欲しい」「一緒になってやっていきましょう」ということを訴えかけ、企業にそのような気持ちになって回答してもらえようような調査にしたい。
- ・業種を聞く際に、自分達は何業だととらえているのか、どういう看板を出しているのか、どういったサービスを提供しているのかなどを聞くのはどうか。現状をこう変えたいというものが無く、ただこうしたいという熱意だけでは伝わりにくいので、今実施している施策については多少なりとも聞いた方がいいと思う。
- ・参入したい分野や副業の業種など、一つでもあれば答えてもらってはどうか。
- ・土地と建物というものが新宿にとって、非常に大きな地域資源の一つであって、どう活用していくのかについても関係づけられるようなアンケートになったらいいと思う。

4 次回日程について (予定)

日 時：平成28年1月下旬予定

会 場：BIZ 新宿

5 閉 会